

妙高西条農園 おたより

No.127

7月号
2021.7.23



猛暑で迎える出穂の時期

今年の新潟県を含む北陸地方の梅雨明けは昨年より18日早く7月14日に梅雨明けし、毎日30度を超える真夏日が続いています。

6月16日に中干しを開始した圃場の稲の方は、稲丈も60cm程に抑えられ、一株の本数も20〜25本程に分けつて来ましたので、7月12日に圃場の水口を開け通水を開始しました。これからコシヒカリの出穂が始まる8月上旬までが、水管理の重要な時期で特に暑い日が続く日には、稲も冷たい水を欲しがりますので、圃場の水管理を適正に行っているかと思っています。



今年の畦道アートは「ミネラル肝太米」です

当農園の圃場は約2畝で7箇所に点在しており、このアートの箇所には約15坪の圃場



が3枚ありますが、その中間にある畦が約5m程の高低差があることから、以前から雑草の除草が大変の箇所でした。そこで1年前の平成22年からこの畦にPRを兼ね草文字やカカシを展示しました。草の刈り残しで描いた文字は「ハサかけ米」「MINERARUMAI」「ミネラル米」「ゆうきミネラル米」「メグスリノキ肝太茶」等色々と描いてきましたが、今年は「ミネラル肝太米」にしました。10年以上上つづけてきて、長さ50m幅8mのキャンバスに草文字を刈り残すのですが、文字の配列や刈り残しミスはもうろんです。本来ならばあまり伸びてほしくない雑草ですが、50mのキャンバスに文字を描くには出来るだけ同じ種類の草が、同じ密度で草丈が揃ってほしいことです。これまでは、雑草に肥料をやったり、丈の揃う草を移植したりと普通の農家では考えられないようなことも実行してきました。今年は草丈のやや揃った7月始めに、最初の刈り出しを行い、先日孫の協力を得ながら2回目の刈

し手入れを行いました。あと半月もすると、草丈も揃い文字の輪郭もハッキリ判るようになると思いますので、3回目の手入れを行う予定です。夏休みを利用し見学にお出ください。



近年、農家の仕事が大変とのこと、離農する農家が増えてきています。そんな中で頑張るには、遊び心や好奇心も大切だと思います。畦道アートをしています??...



4年前から宇宙芋の試験栽培を行っています。今年は4棚と緑のカーテンを作りました。現在みんな旺盛に生育しています。秋の収穫が楽しみです。



先月号で紹介しました、黒ニンニクが完成



し好評販売中です。今年は例年になく猛暑が続くといわれています。黒ニンニクでスタミナを付け、この夏をのりきってください。

発行者
〒944-0023 新潟県妙高市西条 755
妙高西条農園池田博子
TEL 0255-72-3497
Fax 0255-72-2908